



宮司プレス 第二百三号

彦島八幡宮 宮司ニユース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 令和五年七月二十九日

◇宮司の柴田です。お待たせしました、宮司プレス第二百三号の発行です。熱中症警戒アラートなるものが発令され、にわかには信じられないのですが、「命にかかわる暑さ」と報道される、炎熱焼くがごとき日々であります。

◇近年は、大雨に「記録的な」の前置きが増えたようです。それもそのはずで、豪雨の引き金となる水蒸気は、海上から日本にもたらされます。日本近海は、水温が高い状況が続き、雨雲が発達しやすくなっています。さらに、気候の温暖化が進むにつれて、水蒸気量は増える予想されているのです。温暖化の進行が現実の脅威となつて、私共の地域や日本のみならず世界全体を覆い始めたといつても過言ではありません。

前月号にも記述しましたが、ポイント オブ ノーリターン」、時計の針はもう戻せないのです。

◇書経に、「地平らぎ天成り」という、名高い言葉があります。なぜ、名高いかというところ、

「平成」という元号の出典だからです。まず、この地上が平和であつて、初めて天が成り立つといつています。この地上が平和であつ

て、はじめて天としての健全な営みがあるのだといつていられるのです。であれば、地上の役割は重大です。なぜならば、地上の在り方次第で天の状態が変わるといふのですから。天の働きといへば、前述の「異常気象、極端気象」によつて、驚異的な被害を地上にもたらしています。これも地上の在り様を反映しているのでしょうか。さらに、天はこの地上の在り様をどのようにみているのでしょうか。詩人で童話作家であつた宮沢賢治さんは、「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」とおっしゃいました。人間同士が殺し合う戦争、核実験、ミサイルの発射の繰り返し等、はたして、「世界ぜんたい」幸福でしょうか。

国際的な免疫学者の、今は亡き多田富雄さんは、

「美しい日本 四つの特徴」のひとつに、「アニミズムの文化」を取り上げられています。アニミズムとは、「万物有霊論」、つまり、すべて

の物には「魂」がやぶる、まさに、万理万象

に神仏を見出す、日本人の美質の一つでもあります。まさしく、それは、自然崇拜と自然信

仰なのだといつていられるのです。目には見え

ないけれど何か大きな力を尊ぶ、自然崇拜、豊かな自然の恵みに感謝する自然信仰を忘れてはならないといつています。

◇「地平らぎ天成り」とは、私は、「自然崇拜」、「自然信仰」の実践であるところの「祭り」だと思ひます。「祭り」は、神様と私共が、真

に釣り合つている、「真釣り」だと考えるので

す。日々の暮らしの中で、神様に祈り、未来を誓い、その過程には、トライアンドエラーの繰り返しではありますが、与えられた結果に謙虚に向き合い感謝を捧げ、身も心も清らかに、神様の御加護を願うのです。そして、さらに、

前向きな気持ちになり、希望を見失わず生活をすることを誓う、神様にお約束する、まさしく敬神生活であり、「真釣り」の生活なのです。

まさに、日本人らしい心ではないでしょうか。

◇さて、本日は、夏越祭の本殿祭です。過日の七月二十七日(木)に奉製した、「茅の輪」を二回くぐり、さらに、「菅抜き」を一回行います。したがって、合わせて三回くぐることになりま

す。なぜ、三回なのででしょうか。それは、「過去・現在・未来」を清めるのです。一回目は、今までの自分、過去を謙虚に振り返り、そして、二回目は、今を生かされている自分、現在に心から感謝する。さらに、三回目は、これからの未来に、希望を見失うことなく生活することを誓うのです。「謙虚・感謝・希望」こそ、三回の輪くぐりの意義であります。「幸せ」は、三つありますが、御存知ですか。一つ目は、「してもらおう幸せ、感謝、過去」です。そして、二つ目は、「できる幸せ、謙虚、現在」、さらに、「してあげる幸せ、希望、未来」です。まさに、今日の夏越祭は、「地平らぎ天成り」、「自然崇拜」、「自然信仰」の実践であるところの「祭り」、「真釣り」、「三幸美^{せんこうじ}踐」の敬神生活を神様にお誓いする神事といえるのではないのでしょうか。御自愛をお祈り申し上げます。

◇七月の祭典行事報告(予定も含む)

▼月次祭 *七月一日、十五日



▼花手水

*一回目 六月三十日〜七月四日

*二回目 七月七日〜

*三回目 七月十四日〜
*四回目 七月二十七日〜
※いずれも五日間程度



▼貴布祢神社月次祭 *七月一日

▼六連島八幡宮七社祭 *七月九日

*七月九日

※六連島の島内に鎮座する七社(西海大

明神・貴布祢神社・恵比寿神社・峰像神社・荒神社・宗像神社・大歳神社・恵比寿神社)の例祭を、六連島八幡宮の拝殿にて行う(神事)

▼ヒコットランドマリリンビーチ海開祭 *七月十五日

*七月十五日



▼竹の子島天満宮例祭 *七月十五日

▼朝粥会 *七月二十一日

▼夏越祭

□田の首八幡宮 *七月二十三日



□六連島八幡宮 *七月二十五日

※各家をお祓いする戸別祓神事を齋行

□本宮

▽夏越大祓式、前夜祭 *七月二十九日

▽本殿祭、御神幸祭 *七月三十日

□海士郷恵比寿神社 *七月三十一日

◇七月の宮司動静(予定も含む)

▼神社関係団体

□維蘇志会七月例会 *七月二十二日

□敬神婦人会清掃作業 *七月二十三日

□行事委員会茅の輪奉製作業 *七月二十七日

▼神社庁関係

□養成講習会講師打合 *七月四日

□神社総代会役員会 *七月四日

□教化委員会 *七月四日

□教化部代表者会議 *七月四日

□役員会 *七月五日

□支部長事務局長会議 *七月五日

□全国神道講演研修会

*七月十二日〜十四日

□下関支部総代敬神婦人会合同役員会

*七月十八日

□山口県八幡宮会、設立三十周年記念式典

*七月十八日

▼自治会、学校関係

□玄洋校区学校評議員会連絡会議

*七月十四日

□迫町自治会役員会 *七月十九日

▼教誨活動(美祢社会復帰促進センター)

□新入時指導講話 *七月二十日

□集合教誨女子 *七月二十四日

□集合教誨女子 *七月二十四日